

## 自然エネルギー信州ネット 平成 25 年度 定時総会 議事録

1. 開催日時:2013 年 6 月 10 日(木)13:30～16:30
2. 開催場所:JA 長野県ビル12階D会議室
3. 出席理事、監事  
出席理事数 3 人、出席幹事数 1 人  
出席理事:茅野(会長)、平島、沖野、  
出席幹事:高木
4. 出席者数 59 名 (委任状を含め議決権のある会員は過半数以上であった)
5. 議長:茅野 實
6. 議事

### 第1部 総会

会長あいさつ、来賓(長田 長野県環境部温暖化対策課 課長)あいさつで始まりました。

### 第1号議案 平成 24 年度 事業報告 (資料 1-1、1-2)

議長の指名にて事務局長より資料を説明があった後、質疑の時間がとられましたが、議場からの発言はなく、異議なく承認されました。

### 第2号議案 平成 24 年度 収支決算報告ならびに監査報告 (資料 2-1、2-2、2-3)

議長の指名にて事務局長より資料の説明があった後、会計について高木幹事より監査の報告がありました。質疑応答では議場からの発言はなく、24 年度の収支決算報告が異議なく承認されました。資料にも記載されたとおり、法人税の納税については、会計監査済の資料に基づき総会後に速やかに行い、収支決算報告の修正を行うことで了解されました。

### 第3号議案 平成 25 年度 事業計画(案) (資料 3)

### 第4号議案 平成 25 年度 収支予算計画(案) (資料 4)

議長の指名にて事務局長より資料の説明があった後、質疑応答は議場からの発言はなく、事業計画、収支予算計画ともに原案どおり承認されました。

(茅野会長より)

本年度から予算が半減する。環境省の事業予算も本年度が最終年度となる。この間に組織体制

や収益事業についてしっかり考えなくてはいけない状況。信州ネットとしてのしっかりとした事務局も持たなくてはならない。信州ネットの持続的な活動に向けて会員の皆さんからの協力をお願いしたい。

#### 第5号議案 規約の一部改正について（資料5）

議長の指名にて事務局長よりの説明があった後、質疑応答は議場からの発言はなく、規約の第2条の一部（法人格の変更）と、第7条から第8条に顧問についての記載位置の変更について承認されました。

#### 第6号議案 役員の改選について（資料6）

議長の指名にて事務局長より資料の説明があった後、質疑応答は議場からの発言はなく、役員改選案について承認されました。

##### ○退任理事

傘木 宏夫氏（ゆーぶる木崎湖エコアップ協議会会長）

月岡 通孝氏（自然エネルギーネットまつもと副代表）

井出 進氏（自然エネルギー佐久地域協議会事務局長）

##### ○前任理事からの後任推薦理事

加藤三喜男氏（自然エネルギー佐久地域協議会会長）

田村恵子氏（自然エネルギーネットまつもと副代表）

##### ○新任理事

宮入賢一郎氏（自然エネルギー長野北信地域協議会事務局長）

末広 繁和（自然エネルギー上小ネット会長）

松井 淳一（自然エネルギー木曾地域協議会）

総会に出席していた新任理事（加藤氏、田村氏、宮入氏）から挨拶がありました。

##### （事務局長より）

幹事候補1名については弁護士会など専門家の団体へ推薦をお願いする予定。選任については会長一任とさせていただき、決まり次第報告する。

顧問については中島恵理さん、ISEPの飯田哲也さんに加えて、会長の推薦により温暖化対策課の長田課長に就任していただくよう手続きを進める。

##### （平島理事より）

今回新任の田村さんは月岡さんの後任ではあるが、松本地区の代表としてではなく、女性の参加

を増やしたいという意図をお願いした。これからも女性の参加を増やしていきたい。

## その他

### ・今後の組織体制と法人化について（資料 7）

事務局より下記のような説明がありました。

・これまでの運営会議等での議論の結果、多様な立場の方が参加できる「プラットフォーム」としての在り方を維持するべく、信州ネットは任意団体のまま継続し、事業を行う上で必要な法人格を持った組織を新設する方向で整理した。信州ネット本体とは一体的な運営が図れるよう、信州ネットが新法人に対して助言や相談が行える体制を考えている。

事務局長の指名にて平島運営会議議長より運営会議での意見について説明がありました。

・法人化ありきではないが、きちんとした事業をするには法人でない契約そのものが難しい。一方で信州ネット全体の法人化もまた難しい。そこで運営会議で議論した結果、信州ネットの一部に収益事業を行う事業部的な機能を置き、その部分を法人化するという結論に至った。

・運営委員会としては下記を提案したい。

- 1) 法人化するという決意を固める
- 2) 検討グループを作り相応しい法人格や事業内容等を検討していく
- 3) 新法人設立は、最終的に臨時総会で報告する

（会長より）

法人化の議論は当初からあった。組織が大きくなり社会的な信用の維持のためにも法人化が必要になってきた。本年度、速やかに進めて行きたい。

### ・平成 25 年度「連絡会」の開催について（資料 8）

本年度の「連絡会」開催の主旨と開催地案について事務局より説明があり、議場からの意見はなく承認されました。連絡会の企画・運営については開催地の地域協議会の協力を得て進めていくことで合意しました。

○連絡会開催場所（協力団体）

- 7 月 6 日：上小地区（自然エネルギー上小ネット）
- 9 月頃：飯伊地区（南信州自然エネルギー普及協議会）
- 11 月頃：諏訪地区（自然エネルギー信州ネットSUWA）
- 1 月頃：調整中（新設の地域協議会での開催を調整する）

### ・「おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト」について

長野県環境部温暖化対策課の大林さんより、プロジェクトの主旨と概要について説明がありました。議場からの意見はありませんでした。

(会長より)

県内に複数メガソーラーはあるが、企業主体であり、ノウハウは基本的に非公開である。当プロジェクトはノウハウが広く共有される画期的なモデル事業。しかし、諏訪の現場は事務局からは遠いので諏訪の地域協議会に協力をお願いしたい、と考えている。

・「信州・みんなで育てるエネルギー基金」について

議長の指名により、事務局より説明がありました。地球環境基金の補助金を活用した基金のしくみは、まずは寄付を集める事業など、現在の運営体制でできる部分からスタートし、段階的に進めて行くことで合意されました。

また、長野県行っている寄付のしくみ「長野県みらいベース」にも登録することが了解されました。

・平成25年度 専門部会活動計画について ～専門部会長より

議長の指名により事務局が進行し、各部会の代表者から平成 24 年度の活動報告および平成 25 年度の活動計画について発表がありました。

太陽光部会：西原部会長、小水力部会：丸山部会長、バイオマス部会：松木副部会長、グリーン熱：中村部会長、マネジメント部会：小田切(久保田部会長代理)、ファイナンス部会：小田切(山本部会長代理)、政策調査部会：平島部会長

その他、会員より

(自然エネルギー木曽地域協議会より)

市町村の行政担当も巻き込み、取組み発表も含めて 27 日に総会を予定している。

現在、木曽谷の自然エネルギーの地図を作ることで普及をしようと動いている。

エネルギーを作るだけでなく、省エネということにも女性チームを中心に取り組んでいる。

(会員より)

NPO 地球環境フォーラムでは、「パワー・トゥー・ザ・ピープル」の上映会を実施予定。県の環境エネルギー政策にも一致する内容。

経済を地域で循環させることを強く訴えており、参考になる。集客の呼びかけをお願いしたい。

(自然エネルギー市民参加モデル研究協議会より)

信州ネットを通じたつながりでNPO上田市民エネルギーを設立し、「相乗りくん」事業を広げることができて感謝している。これからもよろしく願いたい。

以上、すべての議案の審議を終了し、閉会いたしました。

(議事録作成 寿永)